

2018年5月14日

各位

小田急電鉄株式会社

### 小田急線愛甲石田駅～伊勢原駅間の線路脇陥没の原因と安全対策の実施について

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）では、2018年4月30日（月祝）、小田急線愛甲石田駅～伊勢原駅間、上り線の線路脇で土砂の陥没が発生いたしました。陥没が生じた原因調査の結果と安全対策につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

ご利用の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

### 記

#### 1. 事象の概要

2018年4月30日（月祝）10時35分頃、架線点検中の当社社員が、小田急線愛甲石田駅～伊勢原駅間の線路脇に幅1メートル、深さ4.5メートル程の土砂の陥没を発見し、同時刻から本厚木駅～伊勢原駅間の運転を見合わせました。陥没箇所の埋め戻しによる復旧作業を行い、15時01分、同区間の運転を再開いたしました。当該箇所では係員が線路監視を行うとともに、列車の速度規制を実施しています。

#### 2. 陥没の原因

陥没箇所の下を横断する污水管について、管理者である伊勢原市とともに調査しました。調査の結果、污水管に幅約9センチメートルの破断と、隣接管路が上下に10センチメートルのずれがありました。その損傷箇所に線路直下の路盤が徐々に流出し、陥没したものと特定いたしました。

#### 3. 対策

##### （1）污水管のバイパス構築と封鎖

伊勢原市にて、陥没の誘発を防止するため、隣接する水路内に污水管を敷設して移設するバイパス工事を実施します。そのうえで、污水管内をモルタルで充填し閉塞を行い、土砂の流出を防ぎます。なお、この工事は11日（金）始発列車運行前までに完了いたしております。

##### （2）污水管横断箇所の点検の実施

線路下を横断する污水管内の上り線側のほか下り線側にも損傷箇所を確認いたしました。このため、上記（1）の工事に加えて、下り線側の損傷箇所上部に空洞が生じていないか点検を実施します。また、点検の結果、空洞があった場合には同時にセメント系の材料にて充填いたします。作業は15日夜間を予定しておりますが、作業状況や天候などにより変更となる場合があります。

(3) 線路下を横断する管路に関する点検の実施

当社線の線路下を横断する管路について目視による点検を実施いたします。

4. 速度規制等の解除について

上記3(2)の対策の完了後、軌道の安全性を確認したうえで、現場付近の速度規制、係員による線路監視を解除し、通常運転いたします。

以 上